

水稻・大豆 栽培情報 9月号②

令和8年9月28日

JA みづま

久留米普及指導センター

【水稻】

1. 生育概況

出穂期は昨年と同程度かやや遅くなりました。出穂後の気温は平年並みかやや低く経過しており、収穫時期についても昨年と同程度かやや遅くなる見込みです。刈遅れにならないように、適期収穫に向けた作業を実施しましょう。

2. 収穫時期予想

出穂期や収穫時期は、移植時期・圃場条件・肥培管理等で異なります。実際の収穫時期は、自身の圃場を見て判断してください。

○収穫時期予想（※立毛検見および出穂期後の積算気温により予想）

品種	出穂期（6/22～23植）	収穫時期
夢一献	8/24～25	10/4～
ヒノヒカリ	8/28～29	10/11～
ヒヨクモチ	9/6～7	10/24～

※出穂期後積算気温(夢一献:900～1080℃、ヒノヒカリ:900～1050℃、ヒヨクモチ:930～1100℃)を

収穫時期として久留米アメダスの値により予測しています。

※収穫適期の目安は黄褐色籾の比率が80%になった時です。

籾水分は28%（早限）～21%（晚限(夢一献)）、22%（晚限(ヒノヒカリ、ヒヨクモチ)）です。

※刈遅れは、胴割れ米の発生など品質低下につながるので、計画的な収穫作業を行いましょう。

3. 水管理（落水）

- ・落水の時期は収穫前1週間程度が目安です。早すぎる落水は充実不足を招きます。圃場条件や天候を考えて決めてください。可能な限り早期の落水を避けましょう。

4. 雑草防除

- ・ヒエ、アゼガヤなどの雑草が圃場内に残草している場合は、収穫前に可能な限り手取りを行い来年の発生を抑制しましょう。

5. 収穫後の稲わらについて

- ・稲わらは地力維持・排水性向上・土壌柔軟化のため、焼却せずにすき込みましょう。
- ・麦作付け予定の圃場では、わらは「短め」にカットし、圃場一面、均一になるようにしましょう（特に、枕部分などに偏らないように）。耕起後、降雨に遭うとしばらく圃場に入れず播種が遅れるため、すき込み・耕起は播種直前に行いましょう。

【大豆】

1. 生育概況

開花期は8月23～25日頃となり、9月以降は適度に降雨があったため、生育は順調です。今後は病害虫の発生状況に注意し、適期防除を行いましょう。

2. 病害虫防除

- ・ハスモンヨトウの発生が増加してきています。併せてウツバやオオタバコガ、シロイチモジヨトウも散見されます。発生が多い場合は下表を参考に防除を行ってください。
- ・カメムシ類の発生量が多く、加害が懸念されます。カメムシ類は移動性が高いため、地域で一斉防除を行うと効果的です。

①「ハスモンヨトウ」対策

- ・ハスモンヨトウが多い場合は、補正防除を行う。

散布時期（目安）	対象病害虫	使用する農薬と希釈倍数 ※希釈水量は10a当り 100～300L	使用時期 収穫前日数
※発生が多いとき	ハスモンヨトウ	プロフレア SC 4,000 倍	前日まで

②「カメムシ」対策

- ・カメムシ類が多い場合は、3剤混合防除の7～10日後頃を目安に防除を行う。

散布時期（目安）	対象病害虫	使用する農薬と希釈倍数 ※希釈水量は10a当り 100～300L	使用時期 収穫前日数
9月下旬～ 10月上旬頃	カメムシ類	アルバリン顆粒水溶剤 2,000 倍	7日前まで

- 農薬の使用量、使用時期は暦を参照してください
- 農薬のラベルに記載されている有効期限及び登録内容を確認して散布しましょう
- 農薬の隣接作物、宅地への飛散を防止しましょう